

新病院整備事業関連 研修医宿舎棟建築工事事業者選定
公募型プロポーザル審査結果報告

新病院整備事業関連研修医宿舎棟建築工事を委託するに当たって、公募型プロポーザル方式により事業者の選定を行いましたので、次のとおり審査結果を報告します。

令和 8 年 7 月 17 日

新病院整備事業関連研修医宿舎棟建築工事事業者選定に係る宍粟市プロポーザル選定委員会
委員長 佐竹 信祐

1 審査結果

新病院整備事業関連研修医宿舎棟建築工事事業者選定（以下「選定委員会」という。）は、参加資格審査及び技術等審査を厳正かつ公正に行った結果、次の者を最優秀提案事業者（以下「最優秀者」という。）に特定しました。

最優秀者 神名・中道特定建設工事共同企業体
（概算工事費兼設計費：156,035,000 円【消費税及び地方消費税を含む】）

2 参加資格審査及び技術等審査までの経過

(1) プロポーザル実施方法の決定

令和 8 年 3 月 25 日（水）第 1 回選定委員会を開催しました。

選定委員会設置要綱、市ガイドライン、実施要領を確認し、参加資格要件及び評価基準など実施要領に関するについて決定しました。

また、技術等に関する提案書の審査及び評価に関すること、並びに候補者選定に関することなどについて決定しました。

(2) 公告

令和 8 年 4 月 17 日（金）事業者選定の実施について公告しました。

宍粟市及び宍粟総合病院のホームページに掲載しました。

(3) 参加申込書等の提出

令和 8 年 4 月 17 日（金）から令和 8 年 5 月 11 日（月）まで募集を実施した結果、3 者から参加申込書の提出がありました。

(4) 参加申込に関する質問書の提出

令和 8 年 4 月 27 日（月）までに 1 者から質問書の提出がありました。

(5) 質問書への回答

令和 8 年 4 月 28 日（火）に、宍粟総合病院ホームページにおいて、質問に対する回答を掲載しました。

(6) 参加資格確認結果の通知及びプロポーザル関係書類提出の要請

参加申込書の提出のあった3者について、参加資格を有することを確認し、令和8年5月15日（金）に参加資格確認結果の通知と共に技術提案書等の提出要請を行いました。

(7) 技術提案書等に関する質問書の提出

令和8年5月25日（月）までに、2者から質問書の提出がありました。

(8) 質問書への回答

令和8年6月3日（水）までに、宍粟総合病院ホームページにおいて、質問に対する回答を掲載しました。

(9) 技術提案書等の提出

令和8年6月25日（木）までに、3者から技術提案書等の提出がありました。

3 技術等審査の経過

技術等審査は、第2回選定委員会（令和8年7月8日（水）開催）において、次の手順で実施しました。

(1) はじめに、参加資格審査を通過した3者（H社、N社、E社）に対し、個別にプレゼンテーション及びヒアリングを実施しました。プレゼンテーションは、技術提案書について20分以内で説明を求めた後、選定委員との間で15分程度のヒアリング（質疑応答の形式）を実施しました。なお、プレゼンテーション及びヒアリングについては、公開で行うこととしておりましたが、傍聴希望者が居なかったため、傍聴者なしで行いました。

(2) 3者のプレゼンテーション及びヒアリングが終了した後、それぞれの提案について、各委員により採点を行い、技術提案書に関する評価点を算出しました。

(3) 実施要領に定めのある実績・技術提案・価格の評価点を合計したものを確認し、選定委員会の総意として、最優秀者をN社（神名・中道特定建設工事共同企業体）としました。

4 評価事項及び評価結果

(1) 評価事項

今回のプロポーザルの評価を行うに当たっては、下記の評価項目・配点で評価することとしました。なお、技術提案の評価については、提出された技術提案書等及びプレゼンテーション及びヒアリングにより、実施、実現できる効果的かつ具体的な取り組みの観点より総合的に各評価委員が項目ごとに評価を行いました。評価点の算出については、項目ごとに平均点を算出し評価点としました。

なお、評価項目に対する配点は次のとおりです。（実施要領より抜粋）

（別表1）技術提案等評価項目及び配点表

評価項目				提案に求める内容	配点	最大得点
総合評価で求める項目	配置予定技術者の能力	監理技術者	施工実績 (平成 28 年 4 月以降に監理技術者または主任技術者として従事した実績)	県又は市町村発注の建築工事で実績あり	2	2
				その他の建築工事の実績あり	1	
				施工実績なし	0	
		現場代理人	施工実績 (平成 28 年 4 月以降に現場代理人として従事した実績)	県又は市町村発注の建築工事で実績あり	2	2
				その他の建築工事の実績あり	1	
				施工実績なし	0	
	(1) 設計段階の実施方針に関する提案			①研修医に対する利便性や快適性を高める工夫について	優：10 良：5 可：0	30
				②施工者としての設計品質を確保及び品質向上を実現するための取組について	優：10 良：5 可：0	
				③建物の長寿命化及びライフサイクルコスト低減に配慮した施設計画について	優：10 良：5 可：0	
	(2) 施工段階の実施方針に関する提案			①施工を円滑に進めるために行う発注者をはじめ関係者とのコミュニケーション手法について	優：4 良：2 可：0	16
				②竣工後の建物品質を維持するための提案について	優：4 良：2 可：0	
				③品質・機能を確保した上での技術的なコスト削減方法	優：4 良：2 可：0	
				④業務の効率化や工程管理の工夫による経済的な実施体制	優：4 良：2 可：0	
	(3) 価格			評価は、概算工事費兼設計費で行う。総事業費参考価格(契約上限額) に対し、85%を限度に最大 50 点とする。	～50	50
総合評価点合計					100	

（注）共同企業体による受注実績の場合、以下のすべての項目について評価の対象となるのは代表構成員としての実績のみに限るものとする。

（2）各評価事項の評価

ア 配置予定技術者の能力

配置予定技術者の能力に関する評価については、実施要領と別に定めた表（別表 1）をもとに評価を行いました。評価項目としては、1 監理技術者の施工実績、2 現場代理人の施工実績で評価を行いました。

配置予定技術者の能力については、当院が求める実績を有していました。評価の結果は次のとおりです。

評価項目		H社	N社	E社
配置予定技術者の能力		4.00	4.00	3.00
	監理技術者	2.00	2.00	2.00
	施工実績	2.00	2.00	2.00
	現場代理人	2.00	2.00	1.00
	施工実績	2.00	2.00	1.00

イ 技術提案評価

技術提案については、(1)設計段階の実施方針に関する提案、(2)施工段階の実施方針に関する提案の2つの項目で評価を行いました。

なお、技術提案の評価については、提出された技術提案書等及びプレゼンテーション及びヒアリングにより、実施、実現できる効果的かつ具体的な取り組みの観点より総合的に各評価委員が項目ごとに評価を行いました。

評価の結果は次のとおりです。

評価項目		H社	N社	E社
技術提案		32.00	32.80	32.20
	設計段階の実施方針に関する提案	20.60	20.80	20.60
	研修医に対する利便性や快適性を高める工夫について	7.20	7.00	7.00
	施工者としての設計品質を確保及び品質向上を実現するための取組について	6.60	6.80	6.80
	建物の長寿命化及びライフサイクルコスト低減に配慮した施設計画について	6.80	7.00	6.80
	施工段階の実施方針に関する提案	11.40	12.00	11.60
	施工を円滑に進めるために行う発注者をはじめ関係者とのコミュニケーション手法について	3.00	2.80	3.00
	竣工後の建物品質を維持するための提案について	2.80	3.00	2.80
	品質・機能を確保した上での技術的なコスト削減方法	2.80	3.20	2.60
	業務の効率化や工程管理の工夫による経済的な実施体制	2.80	3.00	3.20

ウ 価格評価

価格評価については、概算工事費兼設計費の提出を受けて、実施要項に示した計算式で算出しました。

なお、実施要領で示した計算式及び評価点は次のとおりです。

価格評価点の算出に当たっては、各提案者の提案見積価格を総事業費費参考価格（契約上限額）で割り、参考見積提案率（％）を算出しました。

パターン１：参考見積提案率が 85％以下の場合は 50 点とする。

パターン２：【85％＜参考見積提案率≤100％】における評価点は下記の計算式により求める。

価格評価点算定式 $y = b \times (1 - x/a)$

x：（参考見積提案率-85％） y：価格評価点 a=15％ b=50 点

評価項目	H社	N社	E社
価格	43.33	50.00	26.66

エ 評価結果の合計（最終結果）

各評価項目の合計は下記のとおりとなり、N社を最優秀者として特定しました。

評価項目	H社	N社	E社
配置予定技術者の能力	4.00	4.00	3.00
技術提案	32.00	32.80	32.20
設計段階の実施方針に関する提案	20.60	20.80	20.60
施工段階の実施方針に関する提案	11.40	12.00	11.60
価格	43.33	50.00	26.66
合計	79.33	86.80	61.86

5 総評

本件プロポーザルには３者から参加申込があり、それぞれDB方式のメリットを最大限に活かした、豊富な実績と高度な技術力に基づいたきめ細やかで積極的かつ説得力のある技術提案であり、提案者の努力と情熱に心から感謝いたします。

まず、最優秀に特定されたN社（神名・中道特定建設工事共同企業体）の技術提案では次の点が評価されました。

<研修医のリアルな生活に寄り添った設計提案>

大型宅配ボックスの設置や、医学書・デュアルモニターが置けるワークスペース、高速 Wi-Fi の導入など、現代の研修医の学習と生活実態に即した細やかな提案。

＜設計から施工・工事監理までを一貫した業務実施体制＞

発注者、現場代理人及び監理技術者、各業務担当者（設計業務、施工業務、工事監理業務）による実施体制が生まれ、現場代理人及び監理技術者、協力会社、安全品質管理・安全衛生担当者による施工検討会メンバーを結成することで、設計段階から施工段階を通じた品質確保に向けた体制整備を提案。

＜経済的な組織体制＞

木構造に熟知した管理者を配置し、職人任せにせず手戻りを防ぐとともに、高度な技術を要する業務にはベテランを、単純作業には補助員やデジタル機器を割り当てる「専門分担の最適化」を図ることで、施工品質を維持しつつ効果的に人件費を抑制する経済的な組織体制の提案。

次に、H社においては次の点が評価されました。

＜交流を促す共有スペースの設計提案＞

多目的室やカフェコーナーなどの共有室を設置し、研修医がリラックスして休息・交流できる空間づくりを意識した設計提案。

＜発注者との密なコミュニケーション＞

軽微な変更や増減工事が発生した際に即時報告を行うなど、施工中における透明性の高い建設的な対応姿勢。

＜長期的な維持管理を見据えたアフターフォロー＞

引渡後の定期点検（6か月・1年・2年）に加え、工事瑕疵以外の不具合についても建物の永年維持に貢献する提案を行う姿勢。

最後に、E社においては次の点が評価されました。

＜オンオフを切り替えられる居住空間の工夫＞

交流ラウンジによるコミュニティ形成だけでなく、キッチンやクローゼットを収納扉に隠せる設計を採用し、ホテルライクでメリハリのある生活空間を提案。

＜入居者目線の独自サポート体制＞

入居する研修医自身が建物をきれいに保てる「お手入れマニュアル」の作成や、定期点検時のヒアリングシートの配布など、入居者へのきめ細かなサポート体制。

＜段階的なアラートレベルを設けた確実な工程管理＞

完全週休二日や猛暑をあらかじめ織り込んだ工程表を作成し、万が一の遅延日数に応じた段階的な回復ルール（協力会社への応援要請など）を具体的に定めた確実性のある工程管理を提案。

以上の技術提案評価に加え、実績評価と価格評価を加算した評価合計点が上位であるN社を最優秀と特定しました。

最後に、昨今の建設資材高騰など建設業界が見舞われている事態への対応も一定考慮された技術提案であり、提案者とともに十分な業務遂行能力を有することが確認できました。今後とも市・病院関係者・新病院整備工事の関係者と良好な関係を築き、新たな課題にも柔軟かつ真摯に対応され、地域医療を守る病院建設にご協力いただくよう切に要望いたします。

6 選定委員会

区分	職	氏名
委員長	公立宍粟総合病院 院長	佐竹 信祐
委員	公立宍粟総合病院 副院長兼事務部長	菅原 誠
	宍粟市 総務部長	砂町 隆之
	宍粟市 一宮市民局長	西林 文隆
	公立宍粟総合病院 総務課長	鳥居 長則

以上